

令和 7 年度

事業者番号	0462	事業所番号	046206
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	埼玉県柿木浄水場		
事業所所在地	市区町村	草加市	
	字・地番	柿木町162番地	
産業分類名(中分類)	36 水道業		
分類番号(中分類)	36		
事業活動の概要	事業内容	事業内容 工業用水道事業 配水量 年間28百万m3	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間	2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	【第3計画期間】基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する)			
	その他ガス				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	14,636	t-CO ₂	事業所区分 第2区分	
	削減目標量(計画期間合計)	3,659	t-CO ₂		

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間	7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	企業局全体で削減計画期間の平均削減率を48%以上とする。 (必要に応じて排出量取引を活用する)			
	その他ガス				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	1,622	1,601	1,550	1,546	1,574

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	3,188	3,174	3,071	3,062
前 年 度 比 (%)	—	-0.4	-3.2	-0.3	1.8
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂				
	メ タ ン				
	一 酸 化 二 窒 素				
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン				
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン				
	六 ふ っ 化 い お う				
	三 ふ っ 化 窒 素				
温 室 効 果 ガ ス の 合 計	3,188	3,174	3,071	3,062	3,118

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算 (t-CO₂/指標)

	計 画 期 間					
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	
	エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ 排 出 量 原 単 位	0.1097	0.1099	0.1123	0.1142	0.1128
前 年 度 比 (%)	—	0.1	2.2	1.7	-1.1	
活 動 規 模 の 指 標 単 位						
生産量	千m ³ /年	29,050.97	28,893.07	27,358.19	26,822.81	27,630.87

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	排出量が減少した。
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	無	設備の増減	無	汚泥処理棟解体(平成29年8月以降は使用していない) 令和2年度に比べ配水量は減少しているが、主要機器(取配水ポンプ)の運用は大きく変わらない。
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	有	建物の用途変更	無	設備の増減	有	令和3年度に比べ令和4年度は配水量が減少したため排出量が減少した。 硫酸注入設備の整備に伴い、硫酸注入棟(71.14㎡)を築造した。
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	前年度と比べて配水量が減少したためCO ₂ 排出量は減少した。
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無	前年度より配水量が約3.0%増加したことでCO ₂ 排出量も増加した。配水量の増加により配水ポンプを効率良く運用することができたため原単位は減少した。

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	3,659	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量 (t-CO ₂ /年)
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位: t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計	
基準 排出 量 等	基準排出量 (A)	3,659	3,659	3,659	3,659	3,659	18,295	
	目標削減率の 緩和措置							
	トップレベル認定							
	目標削減率 (B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%		
	排出上限量 (C = Σ A-D)							14,636
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))							
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (E)	3,188	3,174	3,071	3,062	3,118	15,613	
	削減率 (F = (A - E) / A)	12.87%	13.25%	16.07%	16.32%	14.79%	—	
	排出削減量 (G = A - E)	471	485	588	597	541	2,682	
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済	実施済	実施済		

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分 中 区 分				
1	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	設備保全計画を策定し、必要な点検及び修繕を行っている【継続実施】	R6	R6	
2	310200	一般管理事項	31_主要設備等の保全管理	設備等の機器使用表(設備台帳)を作成し、修繕履歴等の記録管理を行っている【継続実施】	R6	R6	
3	310300	一般管理事項	31_計測及び記録の管理	定期的に機器振動・絶縁抵抗等を測定し、機器の劣化傾向管理を実施している。【継続実施】	R6	R6	
4	360700	ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	配水量に応じてポンプの運転台数を調整している。【継続実施】	R6	R6	
5	360700	ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	水処理の悪化が予想される時期以外は、攪拌ポンプを運転停止している。【継続実施】	R6	R6	47.0
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	外灯の一部消灯、点灯時間の季節による変更を行っている。【継続実施】	R6	R6	6.0
7	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	エアコン設定温度を冷房28℃、暖房20℃【継続実施】	R6	R6	
8	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	場内外灯28灯中19灯についてLED化更新し、省エネを指向する。(使用停止中及び交換済みは除く)	R4	R4	0.9
9	360700	ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	取配水ポンプの回転数制御化	R7以降		533.0
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄